

■ 神的精神と人的精神

「主をあがめる」これはラテン語でマグニフィーカート。ギリシャ語はメガリーノと訳されます。私たちが今でも使うメガという言葉の語源になったものでもあります。すなわち大きいという言葉の元々の語源が神をあがめるという意味なのです。これは自分より相手を大きくするという表現です。私たちはある時から相手が間違っていて自分の方が正しいし、まともだ。相手を小さくし自分を大きくしてしまうという考えに変わりました。ですが聖書の原点は自らが罪をおかした事を通して本当は弱くて愚かであることを知ることにあります。元々は尊くそして最高傑作として造られました。が罪を犯したために愚かになりました。ということは間違っただけで元に戻ればよいのです。精神には差があります。人的精神の中に自己決定権を持つのが人間であり持たないのが動物。ですからこの人的精神の中で馬鹿だと比較するのであればそれは人的精神の最も低いところにあるのです。もし人が愚かなところから立派になったのだとしたら神の思いすなわち神的精神にたどりつくことはありません。人は元々神の精神（神的精神）を共有していました。神のイメージの中にあなたが創造されたのであれば神的精神をアダムとイブは持っていたということになります。ですがそれが朽ちたのです。良心に問題が起こったということ、ただそれだけなのです。

■ 神は心を見る方

私たちは心の内を見るのではなく外側だけを見て判断します。ですが神はその人の本質で判断します。私たちクリスチャンもそうありたいと思うのです。ですが私たちはそのような目線を持っていません。常に傷つきの恐れ鎧をまとい自己防衛の上に人を見て判断しています。しかし神は神を守る為にあなたを見ていません。間違っただけであなたの本質が損なわれるのであれば厳しくし本質を見抜いて愛し向き合います。それはあなたの親だからです。あなたがもし親であり、上司であり、先輩であるなら相手の間違っただけで自分の為に判断しないでください。マリヤは頭では色々と思いましたがこの時に主をあがめ父であることを認めました。ここに「あがめる」という言葉を使いました。私たちが何を選ぶのか決断が必要なのです。神は心を見る方です。クリスマスはキリスト（救いをもたらす人すなわちキリスト）を礼拝するという意味です。私たちが愚かで小さな者であり自分の弱さを認められず氣勢をはり鎧を着た状態であることを全て認めることで争いはなくなり終わるのです。比べる事がないからです。私たちがしている事を神の前に正しいか見定めるのです。

■ 失望や孤独の中にキリストは生まれる

「人の心の中には、神が作った空洞がある。その空洞は創造者である神以外のものによっては埋めることができない。」パスカルの言葉です。私たちに出来ない事が起こった時に神は助け手を与えてくれることがあります。マリヤは辛かった時にエリサベツという女性が助け手になりました。心の中に作られた空洞は自らで埋める事はできませんが神様は誰かを遣わして心の中の空洞を埋めようとします。ヨセフとマリヤは追われた先で宿屋がなかったのです。彼らには家畜小屋しかありませんでした。居場所がなくなりなぜここにいるのだろうという失望と孤独の中にいることを知ったまさに私たちの心の中に光が灯されるのです。それがクリスマスです。私

ちはその事を知らなければいけません。

■ ともにあきらめない！！

人生には二通りの生き方しかない。ひとつは、奇跡など起こらないかのように生きること。もうひとつは、すべてが奇跡であると生きること。

—アルベルト・アインシュタイン—

受けるよりあたえるほうが幸いである。

エリシャが 1 人の絶望にかられたやもめに出会い言います、町に行き行って器を持って来るように言い祈るとその器に油がおおいに注がれました。ですが途中にもう器はありませんと言った瞬間にそれは止まりました。信仰による行動が止まったのです。私たちがもう無理だと思った瞬間に奇跡はとどまってしまうのです。信じたようになるからです。

そして受けるより与える人になってください。自分の人生を変えようとするときあきらめが生まれますが誰かのために何かをしようとするとき諦めません。誰かに与える時に奇跡は起こり幸いになって欲しいと思った時に人を作り変えるのです。私たちはそれを信じます。

そして諦めないためには 1 人でしてはいけません。主はふたりでも三人でも、わたしの名において集まるところには、わたしもその中からです。（マタイ 18 : 20）といわれました。ですからそのためには友が必要です。人生を共に生きる友を見出してください。あなたが戦いの中にあってもしなければならぬことをしようとした時に友は与えられます。ネヘミヤ王にはペルシャの王が、ダビデにはヨナタン、ヨセフにはファラオが与えられました。その友があなたを支え助けます。これが神の計画です。わたしはもはや、あなたがたをしもべとは呼びません。しもべは主人のすることを知らないからです。わたしはあなたがたを友と呼びました。（ヨハネ 15 : 15）このクリスマスの日にキリストはあなたを友と呼びました。その友のために命をかける人生を選んで戦っていきたいと思うのです。

まとめ

私たちはいつも誰かと比較して、なんとか相手より立派になろうとしてしまう愚かさを持っています。しかし、私たちの周りに置かれたその人は争う存在ではなく、愛し合い助け合う存在です。大切なものは外側ではなく内側です。その人も、あなたも神様に造られた最高傑作なのです。

今、心の中に救えない人がいるでしょうか。あなたがつらかったこと、悲しかったこと。神様はすべてご存じです。そしてそれを取り去るために、神様は来てくださったのです。

深い暗闇の夜。汚い家畜小屋でイエス様はお生まれになりました。

今あなたは失望の中にいるでしょうか。孤独の中にいるでしょうか。居場所が見いだせないでいるでしょうか。

しかしそんな暗闇の中にイエス様は生まれてくださいました。

私たちの暗闇を神様の前に差し出し、神様の光で照らしてもらいましょう

（要約者：西寄真由美）

（2020年12月20日）